

関連科目

目次

総合演習 A(a)(前期),(b)(後期).....	1	作品分析特講 B(a)(前期),(b)(後期).....	40
総合演習 B(a)(前期),(b)(後期).....	5	作品分析特講 C(a)(前期),(b)(後期).....	44
総合演習 C(a)(前期),(b)(後期).....	10	作品分析特講 D(a)(前期),(b)(後期).....	49
総合演習 D(a)(前期),(b)(後期).....	15	作品分析特講 E(a)(前期),(b)(後期).....	54
総合演習 EⅡ(集中).....	18	作品分析特講 F(a)(前期),(b)(後期).....	58
論文演習 A(a)(前期),(b)(後期).....	21	原書講読(英)(a)(前期),(b)(後期).....	63
論文演習 B(a)(前期),(b)(後期).....	25	原書講読(独)(a)(前期),(b)(後期).....	67
論文演習 C(a)(前期),(b)(後期).....	28	原書講読(仏)(a)(前期),(b)(後期).....	72
論文演習 D(a)(前期),(b)(後期).....	32	音楽文献研究(a)(前期),(b)(後期).....	76
作品分析特講 A(a)(前期),(b)(後期).....	36		

総合演習 A(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 土田 英介 教授			曜日時限		水 4 時限
実施キャンパス 調布	単位	各 2 単位		対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

バッハから近代までの西洋音楽の歴史とともに、スタイルの違い、共通点を考えていく。

【到達目標】

それぞれのスタイルの認識とともに、学生 1 人 1 人が個と普遍を意識するようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

大学院生のみとなる。皆さんに考え、演奏してもらう事を主体としたい。ですから、和声力、分析力が必要となる。

【授業の形式】

講義と演習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.ウィーン古典派のソナタ形式について。

事前学習	今までに経験した古典派のソナタ形式で書かれた楽章について復習してくる こと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

2.ウィーン古典派のソナタ形式の確立について

各自バッハ平均律クラヴィーア曲集第 2 巻の楽譜を持ってくること。

事前学習	バッハ平均律クラヴィーア曲集第2巻からウィーン古典派のソナタ形式に近いプレリュードを探してくる事。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

3. モーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第1楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もモーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第1楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

4. モーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第2楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もモーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第2楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

5. モーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第3楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もモーツァルト、ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調K.454 第3楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

6. ハイドン、弦楽四重奏曲GDur Op.76-1 第1楽章又はピアノソナタ Adur Hob./26 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もハイドン、弦楽四重奏曲GDur Op.76-1 第1楽章又はピアノソナタ Adur Hob./26 第1楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

7. ハイドン、ピアノソナタ Cdur Hob./48 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もハイドン、ピアノソナタ Cdur Hob./48 第1楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

8. ベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第1楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第1楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

9. ベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第2楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第2楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

10. ベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第3楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第3楽章について考えてくること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

11.ベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第4楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調作品30-2 第4楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

12.ベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

13.ベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第2楽章、第3楽章フーガの前までの演奏と分析。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第2楽章、第3楽章フーガの前までを考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

14.ベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第3楽章フーガ以降の演奏と分析。

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もベートーヴェン、ピアノソナタ第31番 Asdur 第3楽章フーガ以降について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

15.復習とまとめ。

事前学習	前期の内容を整理してくる	時間	45分
事後学習	古典派とロマン派の繋がりについて考えること。	時間	45分

【授業展開と内容-後期】

1.シューマン「森の情景」～第1曲 森の入り口、第3曲 孤独な花

事前学習	当たっている学生が練習するのは勿論、他の学生もシューマンの書式について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

2.シューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もシューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

3.シューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第2楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もシューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第2楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

4.シューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第3楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もシューマン、ヴァイオリンソナタ第1番 a moi Op.105 第3楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

5.ブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第1楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

6.ブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第2楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第2楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

7.ブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第3楽章の分析と演奏。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もブラームス、ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調作品100第3楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

8.和音数字について。

事前学習	和声の記号について、復習してくること。	時間	45分
事後学習	和音数字について、理解すること。	時間	45分

9.フォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もフォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

10.フォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第2楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もフォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第2楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

11.フォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第3楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もフォーレ、ピアノトリオ dmoll Op.120 第3楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

12.ドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第1楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第1楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

13.ドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第2楽章について。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第2楽章について考えてくること。	時間	45分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45分

14.ドビュッシーの和声について

事前学習	和声の記号、和音数字を復習すること。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。	時間	45 分

15.ドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第3楽章について。

授業のまとめ。

事前学習	当たっている学生が練習合わせをするのは勿論、他の学生もドビュッシー、ヴァイオリンソナタ第3楽章について考えてくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の内容を理解すること。 1年間授業した内容を復習すること。	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜4限後、調布教員室

【教材】

適宜に資料を配ることもあるが、名曲ばかりなので、楽譜は各自用意すること。

【その他】

当たった学生に分析、演奏をしてもらうため、授業開始時間の30分前からは教員室で待機している、皆さんに配る資料等をコピーします。

総合演習 B(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員		佐藤 岳晶 講師 渡辺 裕紀子 講師		曜日時限	
				金 4 時限	
実施キャンパス	調布	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

前期:<音、身体、異文化のエクリチュール>

自らとは異なるエクリチュール・技法を有する他者の表現世界との出会いがもたらすものについて、音、言葉、身体の観点から考える。特に西洋音楽を専門とする者が、他の表現領域や非西洋音楽・文化(本講座では主に日本の伝統芸能を扱う)と出会い、そこから触発されるものについて検討する。異文化理解や領域横断についての先行研究・事例と問題系を押さえつつ、表現という総合的視座から、思考・感性を開いていくワークショップを展開する。

後期:本授業では主に20世紀から21世紀以降の音楽について、音楽家が非西洋文化圏の文化をどのように捉え、それを作品に反映させてきたのか作品に触れながら思考していく。グローバル化する世界の中で音楽は刻々と変化している。世界各地で生まれる音楽は常に社会から影響を受けており、その概念も文脈により異なる。過去の作品を弾く上でも、また新しい

作品に触れる上でも、多様な視点で音楽を捉える力はこれからの時代に生きる音楽家として重要なことである。異なる文化感の摩擦が世界中で起きている今、多様性について音楽家として何をどう考えて提示していくべきか、実際に最終授業では自身が関わるコンサートのプログラムを考え、プレゼンテーションしてもらう。

【到達目標】

前期:他者の文化について関心を高め、関連する先行研究や問題系を踏まえた議論ができるようになる。異文化に開かれた複眼的視野から、自らの思考・表現を相対化し、活性化していけるようになる。

後期:異なる文化や文脈を持つ作品の背景について学び、多様な視点で音楽をとらえる想像力を身につける。音楽家として生きていく上で、その作品を作曲したり演奏したりする意味や、何かを選択することでどのように見られたり、人に感じさせる可能性があるのか、深く考えることができるようになる。また自らが音楽家として何を大事にしていきたいのか、主体的に考え、言語化できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

修士課程 1、2 年生。

【授業の形式】

演習(対面)

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	60%	40%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.ガイダンス・導入:他者の言葉・身体・世界に触発される「音楽」

事前学習	任意の日本の伝統芸能に触れる(映像等でも良い)。	時間	60 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	30 分

2.グローバル／ローカルの視座から「普遍」について考える

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

3.他者の言葉と出会う① 言語の多様性をめぐって

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

4.他者の言葉と出会う②ローカル言語の表象と言語の創造:石牟礼道子『苦海浄土』を読む

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

5.他者の言葉と出会う③ポストコロニアル文学の世界:クレオールと非西欧世界の言語表象

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

6.他者の言葉と出会う④ディアスポラの言葉:言語の他者性

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

7.他者の世界と出会う①カルチュラル・スタディーズ、ポストコロニアリズムの探求

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

8.他者の世界と出会う②鶴見和子の「曼荼羅」の思想と内発的発展論

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

9.他者の音楽と出会う①近世邦楽の世界:「コンテキスト」からのアプローチ

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

10.他者の世界と出会う②近世邦楽の世界:「テキスト」へのアプローチ

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

11.他者の世界と出会う③近世邦楽の世界:演奏・伝承の実例

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

12.他者の身体と出会う①日本の伝統芸能の身体表現 概説

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

13.他者の身体と出会う②日本の伝統芸能の身体表現 現代の舞台芸術への継承・応用

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

14.触発し合う他者の表現①異なる音楽言語共存の探求

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

15.触発し合う他者の表現②言葉／身体と音楽の出合いがもたらすもの

事前学習	前回の授業内容の復習	時間	30 分
事後学習	授業内容の振り返り	時間	60 分

【授業展開と内容-後期】

1.< 西洋からアジア、アジアから見た西洋、その中にある共通点や違いを知る >

モーリス・ドラージュ、ヘンリー・カウエル等の作品①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

2.< 西洋からアジア、アジアから見た西洋、その中にある共通点や違いを知る >

モーリス・ドラージュ、ヘンリー・カウエル等の作品②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

3.< 西洋からアジア、アジアから見た西洋、その中にある共通点や違いを知る >

武満徹の作品など①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

4.< 西洋からアジア、アジアから見た西洋、その中にある共通点や違いを知る >

武満徹の作品など②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

5.< 隣国の音楽、韓国や中国の音楽と楽器 >

イサン・ユンの音楽など

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

6.< 隣国の音楽、韓国や中国の音楽と楽器 >

ウン・スクチンの音楽など

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

7.< 東南アジアの新しい音楽、伝統と革新の関係 >

1970 年以降のフィリピンの音楽①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

8.< 東南アジアの新しい音楽、伝統と革新の関係 >

1970 年以降のフィリピンの音楽②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

9.<社会と音楽の関係、現代社会問題やポリティクスを含む音楽>

ヨハネス・クライドラー等の作品など①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

10.<社会と音楽の関係、現代社会問題やポリティクスを含む音楽>

ヨハネス・クライドラー等の作品など②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

11.<女性作曲家を知る>①

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

12.<女性作曲家を知る>②

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

13.<コンサートプログラムを考えるためのディスカッション> ※もしくは学生が多い場合は、予備として<発表①>とする。

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

14.<発表>

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

15.<発表>

事前学習	演習作品の視聴	時間	45 分
事後学習	扱った作曲家や周辺の作品の復習	時間	45 分

【オフィスアワー】

金曜日 5限後 調布教員室

【テキスト】

【教材】

授業時に指示

総合演習 C(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 後藤 菜穂子 講師			曜日時限		火 2 時限
実施キャンパス 調布	単位	各 2 単位		対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

Semester I: Operas inspired by Literary Masterpieces / Semester II: The Operas of Mozart and the Portrayal of Female Characters.

In this seminar-style course, we will focus on operas inspired by literary masterpieces (Semester I), and Mozart's portrayal of women in his operas (Semester II). In Semester I, we will consider how composers and librettists adapted these literary works and how these operas were received by the public (Semester I), and in Semester II we will examine Mozart's operas with special focus on the female characters, from the perspectives of his time and today.

Students will be required to give presentations during the course.

【到達目標】

After completing this course, you should be able to think critically about an opera and its significance at the time as well as the present.

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

This course is intended for postgraduate students.

【授業の形式】

Seminar style.

The participants will give presentations and take active part in discussions.

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

Grades of A, B, C, D will be given according to the above criteria.

Attendance requirement: at least 10 out of 15 classes. Attendance of online class by submission of assignment.

【課題に対するフィードバックの方法】

Feedback will be given individually on request.

【授業展開と内容-前期】

1.Introduction: Overview and Examination of the relevant literature

事前学習	Check out the operas discussed this semester.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

2.Presentation (lecturer)

Donizetti: Lucia di Lammermoor (Walter Scott)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

3.Presentation (student)

Rossini: Guillaume Tell (Schiller)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

4.Presentation (student)

Donizetti: Maria Stuarda (Schiller)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

5.Presentation (student)

Verdi: La Traviata (Alexandre Dumas fils)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

6.Presentation (student)

Verdi: Don Carlo (Schiller)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

7.Presentation (student)

Gounod: Faust (Goethe)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

8.Presentation (student)

Bizet: Carmen (Mérimée)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

9.Presentation (student)

Tchaikovsky: Eugene Onegin (Pushkin)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

10.Presentation (student)

Massenet: Werther (Goethe)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

11.Presentation (student)

R. Strauss: Salome (Oscar Wilde)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

12.Presentation (student)

Korngold: Die tote Stadt (Rodenbach)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

13.Assignment (online)

事前学習	Assignment	時間	45 分
事後学習	Assignment	時間	45 分

14.Presentation (guest speaker)

Debussy: Pelléas et Mélisande (Maeterlinck)

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

15.Summary and Discussion

事前学習	Review the semester	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.Introduction: Overview and Examination of the relevant literature

事前学習	Think about Mozart's operas you know and about how the female characters are portrayed.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

2.Presentation (lecturer)

Female Characters in Mozart's operas

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

3.Presentation (student)

Bastien und Bastienne

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

4.Presentation (student)

Mitridate, re di Ponto

事前学習	Watch the opera beforehand	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

5.Presentation (student)

La finta giardiniera

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

6.Presentation (student)

Il re pastore

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

7.Presentation (student)

Idomeneo

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

8.Presentation (student)

Die Entführung aus dem Serail

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

9.Presentation (student)

Le nozze di Figaro

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

10.Presentation (student)

Don Giovanni

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

11.Presentation (student)

Così fan tutte

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

12.Presentation (student)

La Clemenza di Tito

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

13.Assignment (online)

事前学習	Assignment	時間	45 分
事後学習	Assignment	時間	45 分

14.Presentation (student)

Die Zauberflöte

事前学習	Watch the opera beforehand.	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

15.Summary and Discussion

事前学習	Review the semester	時間	45 分
事後学習	Revision	時間	45 分

【オフィスアワー】

Office hour after class.

【教材】

I will indicate the reading list at the beginning of each semester.

総合演習 D(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 安田 和信 准教授			曜日時限		水 4 時限
実施キャンパス	調布	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

18 世紀中期から 19 世紀初期にかけての音楽の形式分析、特に William Caplin など近年の英米圏の理論を習得することを目的とする。分析対象は J.Haydn、W.A.モーツァルト、L.v.ベートーヴェンの作品とする。形式分析のみならず、音楽に関わる分析には最終的には主観を免れない部分があるとはいえ、多くの現代の研究者たちが援用している分析理論にはやはりある程度の精度や客観性が認められ、その習得を通じて音楽について書き、語る際の客観性を身につけて欲しい。

前期では主に sentence、period、small-ternary のような比較的小規模なフレーズの分析、後期ではソナタ形式楽章の分析を扱う。後期の議論は前期が前提になっているため、後期受講希望者は前期の履修を勧める。

授業の流れは前期・後期ともに以下のようにする予定である。

最初の数回は教員による説明を通じて、理論の骨格、分析のための用語などを習得する。

その後は各回につき数名(受講者の人数による)が分析のプレゼンテーションを行う。

どの回においても発表者や教員だけでなく履修者全員が活発に意見交換、議論を行い、優れた音楽の書き手、語り手を養成する場としても機能するように努めていきたい。

この授業の対象とする時期は限定的ではあるが、紹介する理論は特に 19 世紀初期以降の音楽にも十分応用が可能であり、特に形式分析について関心を持つ学生の受講を歓迎する。

【到達目標】

18 世紀中期から 19 世紀初期にかけて音楽を対象とした形式分析の理論を習得し、客観的な分析記述ができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

積極的に議論をしたい人を歓迎する。

【授業の形式】

演習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロダクションおよび教員による基本用語の紹介

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

2. 教員による分析のプレゼンテーションとディスカッション

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

3. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション1

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

4. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション2

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

5. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション3

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

6. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション4

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

7. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション5

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

8. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション6

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

9. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション7

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

10. 履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション8

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

11.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション9

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

12.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 10

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

13.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 11

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

14.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 12

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

15.まとめ

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.イントロダクションおよび前期の振り返り

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

2.教員による分析のプレゼンテーションとディスカッション

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

3.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション1

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

4.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション2

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

5.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション3

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

6.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション4

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

7.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション5

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

8.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション6

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

9.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション7

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

10.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション8

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

11.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション9

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

12.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 10

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

13.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 11

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

14.履修者による分析のプレゼンテーションとディスカッション 12

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

15.まとめ

事前学習	classroom で配布した資料を読んでおくこと	時間	45 分
事後学習	授業内容の復習	時間	45 分

【オフィスアワー】

水曜日 5 限後に時間を確保します。

総合演習 EⅡ(集中)		
担当教員	下山 静香 講師	曜日時限 木 4 時限

実施キャンパス	調布	単位	1 単位	対象年次	修士 1 年～
---------	----	----	------	------	---------

【授業の概要】

<複眼でとらえる音楽>

音楽とは人々の営みから生まれるものであり、社会や時代と切り離すことはできない。本講座では、「グローカル」と「越境」をテーマに、様々な音楽事象を複眼的に学ぶとともに、多様な芸術表現に触れていく。

【到達目標】

すべての事象はつながっているということを理解し、音楽を学び研究するにあたり広い視野と想像力・創造力をもてるようにする。また、歴史的・文化的・芸術的な知識を豊かにし、多角的な見方を養えるようにする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

講義を中心とし、適宜音源や映像も視聴する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

課題へのフィードバックは後日メールにて行なう。

【授業展開と内容-前期】

1.【5月21日】<エキゾチシズムと音楽>

1)ヨーロッパ音楽におけるオリエンタリズム

オリエンタリズムの歴史は長い。チュルクリ、アラビア趣味、シノワズリ、ジャポニズム...これらの潮流はどのように音楽作品に投影されてきたのか。バロックから近代までにみられた現象を、時代背景とともにみていく。

事前学習	エキゾチシズムとは何かを考えておくこと。	時間	20 分
事後学習	授業で扱った音楽をさらに分析してみること。	時間	70 分

2.【5月28日】<エキゾチシズムと音楽>

2)パリとエキゾチシズム

パリは、エキゾチシズムにとりわけ敏感な都市である。音楽界では 19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけてスペインブームが起き、レザネ・フォル期にはジャズ、タンゴなど南北アメリカ発の音楽にもいち早く反応している。

サティ、ドビュッシー、ラヴェル、ミヨーの音楽をとおして、20 世紀初頭のパリの精神を迫体験する。

事前学習	ベル・エポックとレザネ・フォルについて軽く調べておくこと。	時間	25 分
事後学習	授業で扱った曲を、可能であれば実際に演奏してみること。	時間	65 分

3.【6 月 4 日】＜ロマと音楽＞

ロマ(ジプシー)の音楽は 18 世紀から多くの作曲家を魅了し、数々の作品が生まれてきた。ロマ人口が多いルーマニア、スペイン、ハンガリー、ロシアのロマ音楽を紹介し、芸術音楽における様々な「ロマ風」を掘り下げる。

事前学習	ロマ風(ジプシー風)の音楽を演奏したことのあるかたは、その時どのようなアプローチで解釈したかをまとめておくこと。	時間	20 分
事後学習	ロマ風(ジプシー風)とされているもので、授業で扱わなかった楽曲を分析してみること。	時間	70 分

4.【6 月 11 日】＜ファリャ研究＞

2026 年、生誕 150 年を迎えたマヌエル・デ・ファリャ。「真にスペイン的な音楽であると同時にユニヴァーサルな音楽」を目指したファリャは、スペイン音楽のモダン化を促進し、現代スペイン音楽に大きな影響を与えている。

彼がスペインの音楽要素——特にフラメンコをどのように自身の音楽言語としていったのかを、作品分析を通して探る。

事前学習	ファリャの代表的な作品を聴いてみること。	時間	30 分
事後学習	スペイン以外の国におけるファリャ的な存在の作曲家を調べてみる。	時間	60 分

5.【9 月 17 日】＜ピアノリズム研究＞

ピアノリズムは多様であり、地域や時代によっても変化する、また、「異端」的存在が現れては業界に刺激を与えている。

そもそも「ショパン的な弾き方」「フランス的な弾き方」「タンゴ的な弾き方」とは？・・・なんでもありの様相を呈するこの時代に、「スタイル」とはなにかを見つめ直してみる。

事前学習	ピアノを弾くかたは、自身のピアノリズムがどこに根差しているかを考えてみる。	時間	20 分
事後学習	自身がとりいれたい奏法があれば試してみる。	時間	70 分

6.【9 月 24 日】＜ことばと音楽、社会と音楽＞

＜社会と音楽、音楽と民衆＞

音楽は、これまで何度となく人々の希望の象徴になってきた。また、ことばを使う「歌」は人々の団結を容易にし、ときには社会を変えるほどの力をもつ。

第九、エル・システマ、フォークソング、ヌエバ・カンシオン(新しい歌)など、社会が音楽を生んだ例、音楽が社会を変えた例をみていく。

事前学習	音楽は人々にどのような作用をし得るか、考えておく。	時間	25 分
------	---------------------------	----	------

事後学習	自身の国でそのような音楽、歌があるか考えてみること。	時間	65 分
------	----------------------------	----	------

7.【10 月 1 日】＜ワルツとハバネラ、旅するダンス音楽＞

ウィーン会議を機に世界に広がり、行き着いた先で異なる個性を獲得していったワルツ。キューバから羽ばたいていき、各地で発展と変容をみたハバネラ。二つのダンス音楽がたどったダイナミックな旅路をひもとく。

事前学習	ワルツの音楽の特徴とダンスの特徴を確認しておくこと。	時間	25 分
事後学習	ワルツとハバネラに関連して興味を持った音楽があれば、さらに研究してみる こと。	時間	65 分

8.【10 月 15 日】＜アルゼンチン音楽の諸相＞

移民大国といわれるアルゼンチン。アルゼンチンの文化(もちろん音楽も)は、移民なくしては語れない。先住民族、ヨーロッパ、アフリカの要素が混じり合う多様なフォルクローレ、そのエッセンスを生かした国民楽派的な芸術音楽、本国においてはローカルな存在ながら国際的な地位を獲得したタンゴを、「人の流れ」をからめて紹介する。

事前学習	アルゼンチンの歴史を確認しておくこと。	時間	20 分
事後学習	アルゼンチンのクラシック音楽をさらに聴いてみる こと。 可能ならば演奏もしてみる。	時間	70 分

【オフィスアワー】

授業の前後に教室にて時間を確保します。

論文演習 A(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	沼野 雄司 教授		曜日時限		
実施キャンパス	調布	単位	各 1 単位	対象年次	修士 2 年～

【授業の概要】

学部時代に「卒論」を書いていない学生を主な対象にして、修士論文の完成に向けて、初歩の初歩から、テーマ設定、構成、資料収集、書式などの指導を行う。

原稿用紙で百枚程度の論文を仕上げることは、経験のない学生にとってはとてつもなく困難なことに感じられるかもしれないが、しかし一定の手順を踏めば、それほどの負担なしに誰でも修士論文を仕上げるのが可能である(例年、いくつものよい論文が提出されている)。卒論とは異なり、修士論文を提出すれば、社会に対しては当該の問題について専門家として認知されることになるし、大学等の教育機関に就職する場合にも大きな意味を持つことになる(また、将来、博士課程に進むことを希望する場合には論文提出は必須となる)。本クラスでは、個々の院生の興味・関心を土台にしながら、2週間に1回の全体クラス授業、そのほかの時間での個人指導を通して、クラス・メンバーが協力しあいながらチーム一丸となって「楽しく・前向き

に」修士論文の完成を目指す。

【到達目標】

修士論文を完成させる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特にないが、週に3時間程度は研究時間を設けることが望ましい。

【授業の形式】

【対面】演習と個人指導

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.イントロダクション:論文とは何か

事前学習	論文テーマについて考えておくこと	時間	30 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分

2.テーマ設定について1

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分

3.テーマ設定について2

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

4.仮の目次を作る1

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

5.仮の目次を作る2

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

6.文献の探し方1

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

7.文献の探し方2

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

8.コンストラクションを練る1

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

9.コンストラクションを練る2

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

10.書式の原則1

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

11.書式の原則2

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

12.小発表1

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

13.小発表2

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

14.補遺

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

15.まとめ

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.後期のイントロダクション

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

2.発表1

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
------	----------------	----	------

事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分
------	----------------	----	------

3.発表2

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

4.発表3

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

5.発表4

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

6.発表5

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

7.発表6

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

8.発表7

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

9.発表8

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

10.発表9

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

11.発表 10

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

12.発表 11

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

13.発表 12

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

14.補遺

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

15.まとめ

事前学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	60 分
事後学習	指示に従って執筆を行なうこと	時間	30 分

【オフィスアワー】

特に定めないが、事前にメールでアポイントメント(numano@tohomusic.ac.jp)をとること。調布1号館 106 号室

論文演習 B(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 安田 和信 准教授			曜日時限		
実施キャンパス 調布	単位	各 1 単位		対象年次	修士 2 年～

【授業の概要】

修士論文を作成するために、音楽学の教員の立場から指導を実施する。特に前期の初めは各学生が取り組んでいる研究の経過についてクラスでプレゼンテーションをしながら、皆で議論を深めていくが、途中からは個人指導を中心にしていく予定である。

【到達目標】

修士論文完成

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

演習および個人指導

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.修士論文執筆に関する指導1

事前学習	論文のテーマについて考えをまとめておく	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

2.修士論文執筆に関する指導2

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

3.修士論文執筆に関する指導3

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

4.修士論文執筆に関する指導4

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

5.修士論文執筆に関する指導5

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

6.修士論文執筆に関する指導6

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

7.修士論文執筆に関する指導7

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

8.修士論文執筆に関する指導8

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

9.修士論文執筆に関する指導9

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

10.修士論文執筆に関する指導 10

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

11.修士論文執筆に関する指導 11

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
------	--------------	----	------

事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
------	--------------	----	------

12.修士論文執筆に関する指導 12

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

13.修士論文執筆に関する指導 13

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

14.修士論文執筆に関する指導 14

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

15.修士論文執筆に関する指導 15

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.修士論文執筆に関する指導1

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

2.修士論文執筆に関する指導2

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

3.修士論文執筆に関する指導3

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

4.修士論文執筆に関する指導4

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

5.修士論文執筆に関する指導5

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

6.修士論文執筆に関する指導6

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

7.修士論文執筆に関する指導7

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

8.修士論文執筆に関する指導8

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

9.修士論文執筆に関する指導9

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

10.修士論文執筆に関する指導 10

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

11.修士論文執筆に関する指導 11

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

12.修士論文執筆に関する指導 12

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

13.修士論文執筆に関する指導 13

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

14.修士論文執筆に関する指導 14

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

15.修士論文執筆に関する指導 15

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

【オフィスアワー】

金曜日 13:20-14:00 および 5 限後、調布。

論文演習 C(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	佐藤 康太 講師	曜日時限			
実施キャンパス	調布	単位	各 1 単位	対象年次	修士 2 年～

【授業の概要】

修士論文の作成指導を行います。個人指導を中心としますが、最初の数回は学術的な文章の書き方を演習形式で学びます。

【到達目標】

修士論文の完成。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし。

【授業の形式】

演習および個人指導。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

その都度授業内でフィードバックを行う。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロダクション: 学術的な文章とは

事前学習	自分のテーマを絞っておく。	時間	45 分
事後学習	自分の修士論文に必要な資料を考え、図書館で検索しておく。	時間	45 分

2. 文献検索、章立て

事前学習	修士論文の構成を考えておく。	時間	45 分
事後学習	章立てを作成する。	時間	45 分

3. 批判的な文献の読み方と引用の仕方

事前学習	自身のテーマに関わる文献を探しておく	時間	45 分
事後学習	自身の文献で引用例を作成し、注を付ける。	時間	45 分

4. 修士論文の執筆1

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

5. 修士論文の執筆2

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
------	--------------	----	------

事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
------	--------------	----	------

6.修士論文の執筆3

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

7.修士論文の執筆4

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

8.中間発表

事前学習	口頭発表のための資料等をそろえ、準備をする。	時間	60 分
事後学習	他の学生からの意見を踏まえ、内容を再検討する。	時間	30 分

9.章立て作成

事前学習	章立てを考えておく	時間	45 分
事後学習	添削された内容を見て、章立てを再考する	時間	45 分

10.修士論文の執筆6

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

11.修士論文の執筆7

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

12.修士論文の執筆8

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

13.修士論文の執筆9

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

14.修士論文の執筆10

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

15.執筆に際しての注意

事前学習	事前に配布される「論文の書き方」を熟読しておく。	時間	60 分
事後学習	執筆順と夏休み中の作業工程を考える。	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.修士論文の執筆1

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

2.修士論文の執筆2

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

3.中間発表

事前学習	口頭発表のための資料等をそろえ、準備をする。	時間	60 分
事後学習	他の学生からの意見を踏まえ、内容を再検討する。	時間	30 分

4.修士論文の執筆3

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

5.修士論文の執筆4

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

6.修士論文の執筆5

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

7.修士論文の執筆6

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

8.修士論文の執筆7

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

9.修士論文の執筆8

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

10.修士論文の執筆9

事前学習	口頭発表のための資料等をそろえ、準備をする。	時間	60 分
事後学習	他の学生からの意見を踏まえ、内容を再検討する。	時間	30 分

11.修士論文の執筆10

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

12.修士論文の執筆11

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

13.修士論文の執筆12

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

14.修士論文の執筆13

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

15.修士論文の執筆14

事前学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分
事後学習	指導に従って執筆を行う。	時間	45 分

【オフィスアワー】

月曜1～2限、調布教員室。

それ以外の曜日時間に関してはメールでアポイントメントを取ること。sato.kota@g.tohomusic.ac.jp

【教材】

R. J. ウインジェル『音楽の文章術』、宮澤淳一・小倉眞理訳、改定新版、春秋社、2014 年。

論文演習 D(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	宮木 朝子 講師		曜日時限		
実施キャンパス	調布	単位	各 1 単位	対象年次	修士 2 年～

【授業の概要】

修士論文を作成するために、MSD のコース専門性を踏まえた指導を実施する。はじめの数回は各自のテーマについてヒアリングと議論によって方向性の確認を行う。その結果を受けて適宜資料の提供やアドバイスをを行った後、個人の執筆指導を中心とする。

【到達目標】

MSD のコース専門性を踏まえ、創作とも結びついた研究を行うことができるようになる。そうした研究の成果として、各自の創作と相互に関連を持つ学術的な修士論文を完成することができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

演習及び個人指導。適宜視聴覚機器やパソコンを活用したプレゼンテーションを行う。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

演習の場合は次回授業時にフィードバックを行う。個別指導の際は適宜メール等も使用したフィードバックを行う。

【授業展開と内容-前期】

1.各自のテーマについてヒアリングと議論 1

事前学習	自分の研究計画を踏まえてテーマを確認しておく。	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえたテーマの再考をする。	時間	45 分

2.各自のテーマについてヒアリングと議論 2

事前学習	再考したテーマについてプレゼンできるようにまとめる。	時間	45 分
事後学習	テーマについて詳細な検討を行う。	時間	45 分

3.テーマについてのプレゼンテーション

事前学習	プレゼンテーションの準備をする。	時間	45 分
事後学習	プレゼンテーション後のフィードバックに基づき、再検討を行う。	時間	45 分

4.修士論文執筆に関する指導 1

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

5.修士論文執筆に関する指導2

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

6.修士論文執筆に関する指導3

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

7.修士論文執筆に関する指導4

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

8.修士論文執筆に関する指導5

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

9.修士論文執筆に関する指導6

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

10.修士論文執筆に関する指導7

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

11.修士論文執筆に関する指導8

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

12.修士論文執筆に関する指導9

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

13.修士論文執筆に関する指導10

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

14.修士論文執筆に関する指導11

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

15.中間発表プレゼンテーション

事前学習	学期末中間報告の準備を行う。プレゼンテーション 資料をまとめる。	時間	45 分
事後学習	プレゼンテーションに対するフィードバックに基づき修正を行う。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.後期のガイダンスと執筆の経過報告

事前学習	経過報告のプレゼンテーションの準備を行う。	時間	45 分
事後学習	プレゼンテーションに対するフィードバックに基づき修正を行う。	時間	45 分

2.修士論文執筆に関する指導1

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

3.修士論文執筆に関する指導2

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

4.修士論文執筆に関する指導3

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

5.修士論文執筆に関する指導4

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

6.修士論文執筆に関する指導5

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

7.修士論文執筆に関する指導6

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

8.修士論文執筆に関する指導7

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

9.修士論文執筆に関する指導8

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

10.修士論文執筆に関する指導9

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

11.修士論文執筆に関する指導10

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

12.修士論文執筆に関する指導11

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

13.修士論文執筆に関する指導12

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

14.修士論文執筆に関する指導13

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

15.修士論文執筆に関する指導14

事前学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分
事後学習	指導を踏まえた調査・執筆	時間	45 分

【オフィスアワー】

木曜日昼及び6限後、調布キャンパス

作品分析特講 A(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	石島 正博 教授		曜日時限	木 2 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

《ベートーヴェンの音楽語法とその反響》

～エッセンスの抽出と表現方法を巡って～

前期は、ベートーヴェンのピアノ・ソナタを、後期は室内楽作品をテキストとして、ベートーヴェンの音楽語法における秩序と逸脱、構築と解体、情感の光と翳などをキーワードに、音＝モノとしてのモティーフが音楽のコトバへと変換されるプロセスを、音＝モノそのものの変容と、構造の核としての自律的な展開とそれに抗う作曲家の内的な葛藤という視点から読み解いてゆきます。

授業は毎回、受講生による分析と試奏→教員による補足・注釈→ディスカッションによって行われます。知に根差し、自らを偽ることのない演奏とは何か？

【到達目標】

ベートーヴェンの音楽語法を詳細に分析することによって、感覚的、あるいは教科書的、または因習的なものから創造的な演奏へのアプローチが少しできるようになるでしょう

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

修士 1 年～

【授業の形式】

ゼミナール形式

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.ガイダンスに代えて:ピアノ・ソナタ Op.31-2.3「テンペスト」を読む。

事前学習	テンペストを読譜しておく	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

2.分析発表① Chopin Op.28-12 の比較分析

事前学習	Chopin Op.28-12 を読譜しておく	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

3.分析発表②「テンペスト」第 2 楽章分析

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

4.分析発表③ 交響的音響《交響曲第4番第 2 楽章》の比較分析

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

5.分析発表④ Op.31-2.3「テンペスト」第 3 楽章の分析 「反復によって表現されるもの」

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

6.分析発表⑤ Chopin ピアノソナタ第 2 番「第4楽章」の分析

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

7.演奏へのアプローチ(試奏とディスカッション、ゲストスピーカーとともに)

事前学習	課題を自分なりに準備する	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

8.分析発表⑥ ピアノ・ソナタ Op.54「ワルトシュタイン」第1楽章の分析

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

9.分析発表⑦ ピアノ・ソナタ Op.54「ワルトシュタイン」第1楽章の分析「調性の可能性と限界」

事前学習	課題の予習	時間	45 分
------	-------	----	------

事後学習	授業の復習	時間	45 分
------	-------	----	------

10.分析発表⑧ Schoenberg Op.19 の分析

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

11.分析発表⑨ ピアノ・ソナタ Op.57「熱情」第1楽章の分析

「連音と変奏、フィギュレーションとは何か①」

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

12.分析発表⑩ ピアノ・ソナタ Op.57「熱情」第1楽章の分析「連音と変奏、フィギュレーションとは何か②」

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

13.分析発表⑪ 交響曲第7番「第2楽章」の分析

「連音と変奏、フィギュレーションとは何か③」

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

14.分析発表⑫ 交響曲第7番「第2楽章」の分析

「連音と変奏、フィギュレーションとは何か④」

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

15.演奏へのアプローチ(試奏とディスカッション、ゲストスピーカーとともに)

ベートーヴェン「ハンマークラヴィーア」第3楽章をテーマに

事前学習	課題を自分なりに準備しておく	時間	45 分
事後学習	自分の考え方を整理する	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.《ベートーヴェンにおける光と翳、室内楽を中心に》

理と破綻が交錯する「思考」と「情感」のトポス

ヴァイオリン・ソナタ第7番 Op.30-2「第1楽章」の分析

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

2. 〃 ②

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

3.ヴァイオリン・ソナタ第7番 Op.30-2「第4楽章」の分析

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

4. Ⅱ ②

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

5.ピアノ・トリオ「幽霊」Op.70-1 第2楽章の分析①

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

6.ピアノ・トリオ「幽霊」Op.70-1 第2楽章の分析②

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

7.弦楽四重奏曲「セリオーン」Op.95 第1楽章の分析

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

8. Ⅱ ②

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

9.弦楽四重奏曲「セリオーン」Op.95 第3楽章の分析①

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

10.弦楽四重奏曲「セリオーン」Op.95 第3楽章の分析②

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

11.弦楽四重奏曲「セリオーン」Op.95 第4楽章の分析①

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

12.弦楽四重奏曲「セリオーン」Op.95 第4楽章の分析②

事前学習	課題の予習	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	45 分

13.自由発表

事前学習	プレゼンテーションの準備	時間	60 分
事後学習	授業の整理	時間	30 分

14.総合討議:情感に向き合う勇気、本質的「知」への信頼、自らを偽らない創作、演奏とは何か

事前学習	課題について自分の考え方を整理しておく	時間	60 分
事後学習	討論の整理	時間	30 分

15.コンサートとディスカッション、ゲストスピーカーとともに

事前学習	課題の準備	時間	60 分
事後学習	自分の考え方を整理する	時間	30 分

【オフィスアワー】

木曜日、授業前後 403

作品分析特講 B(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	加藤 真一郎 准教授		曜日時限	月 4 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

＜ロマン派の室内楽曲 II～メンデルスゾーン＞

メンデルスゾーンは当時の名声に比べて、様々な理由により過小評価され続けてきた。メンデルスゾーンの傑作を楽譜・演奏の両面から学ぶことは、作曲家・作品理解にとどまらず、現代にも通じる音楽の諸問題を考えることにもつながるだろう。姉であるフアン・ヘンゼルの作品や、受講生の希望があればメンデルスゾーンの他の室内楽作品も取り上げたい。

【到達目標】

- ①メンデルスゾーンの人と音楽をより理解できるようになる
- ②より深く楽譜を読むことができるようになる
- ③室内楽の実践を通して、他者と一つの音楽をつくることができるようになる

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

演奏参加を受講の前提とする

大学院生にふさわしい知識、演奏の質、研究意志が求められる

【授業の形式】

講義。受講生全員参加による実演、演奏担当者と講師の対話。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に

判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.授業オリエンテーション(初回に前後期分の演奏担当者を決めるので、予め希望曲を考えておくこと)

事前学習	メンデルスゾーンの作品を調べておくこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

2.メンデルスゾーン概説

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

3.弦楽四重奏曲 第2番 a-Moll op. 13 ①

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

4.弦楽四重奏曲 第2番 a-Moll op. 13 ②

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

5.弦楽四重奏曲 第2番 a-Moll op. 13 ③

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

6.弦楽四重奏曲 第2番 a-Moll op. 13 ④

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

7.弦楽四重奏曲 第2番 a-Moll op. 13 ⑤

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

8.メンデルスゾーンのオーケストラ作品

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

9.ピアノ三重奏曲 第1番 d-Moll op. 49 ①

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

10.ピアノ三重奏曲 第1番 d-Moll op. 49 ②

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

11.ピアノ三重奏曲 第1番 d-Moll op. 49 ③

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

12.ピアノ三重奏曲 第1番 d-Moll op. 49 ④

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

13.ピアノ三重奏曲 第1番 d-Moll op. 49 ⑤

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

14.まとめ

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	学んだ作品について継続して理解を深めること	時間	45 分

15.発表会

事前学習	学んだ作品について継続して理解を深めること	時間	45 分
事後学習	学んだ作品について継続して理解を深めること	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(後期演奏担当を調整する)

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

2.ファニー・ヘンゼルの作品、メンデルスゾーン姉弟の連弾作品 ①

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

3.ファニー・ヘンゼルの作品、メンデルスゾーン姉弟の連弾作品 ②

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

4.弦楽四重奏曲 第6番 f-Moll op. 80 ①

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

5.弦楽四重奏曲 第6番 f-Moll op. 80 ②

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

6.弦楽四重奏曲 第6番 f-Moll op. 80 ③

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

7.弦楽四重奏曲 第6番 f-Moll op. 80 ④

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

8.弦楽四重奏曲 第6番 f-Moll op. 80 ⑤

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

9.ピアノ三重奏曲 第2番 c-Moll op. 66 ①

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

10.ピアノ三重奏曲 第2番 c-Moll op. 66 ②

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

11.ピアノ三重奏曲 第2番 c-Moll op. 66 ③

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

12.ピアノ三重奏曲 第2番 c-Moll op. 66 ④

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分

13.ピアノ三重奏曲 第2番 c-Moll op. 66 ⑤

事前学習	授業で取り上げる作品の楽譜を読むこと	時間	45 分
事後学習	学んだ作品について継続して理解を深めること	時間	45 分

14.まとめ

事前学習	学んだ作品について継続して理解を深めること	時間	45 分
事後学習	学んだ作品について継続して理解を深めること	時間	45 分

15.発表会

事前学習	学んだ作品について継続して理解を深めること	時間	45 分
事後学習	学んだ作品について継続して理解を深めること	時間	45 分

【オフィスアワー】

月曜日 4限後 仙川教員室

【教材】

楽譜は各自入手のこと

<参考書>

星野宏美:メンデルスゾーンのスコットランド交響曲(音楽之友社)

山下剛:もう一人のメンデルスゾーン(未知谷)

クッファースバーグ・横溝亮一訳:三代のユダヤ人 メンデルスゾーン家の人々(東京創元社)

ロベルト・シューマン(吉田秀和訳):音楽と音楽家(岩波文庫)

前田昭雄:シューマニアーナ(春秋社)

作品分析特講 C(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	石島 正博 教授		曜日時限	月 2 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

《音なひの現象学》—三善・矢代・八村、祈りと「声」の深淵

～不条理に抗う「声」と、言語を超えた響きの現象学～

「戦争」や「虐殺」を止められない人間という存在。その残酷な手で、なぜ音楽を、祈りを奏でることができるのか。本講義では、戦時下を生きた、日本を代表する作曲家・三善晃の音楽に内在する愛と不条理、矢代秋雄が構築した知性の防壁、戦後の日本でなかばアウトサイダーのごとく生きた奇才、八村義夫が晒した剥き出しの苦痛を、人間存在への根源的な「問い」として提示する。

音楽は世界を救わない。しかし、音楽は人間がいかにかいようのない存在であるかを、その「音なひ」によって証明し続ける。言葉にならない「音楽」のコトバが人間の「叫び」や「祈り」へと変容する瞬間、その深淵に触れる。

授業は、講義とマスタークラス(作品の演奏)を組み合わせで行うため、原則として演奏(部分的な試奏を含む)が義務づけられる。

【到達目標】

講義と演習、討議を通じて、みなさんが自分の人生と音楽との距離、関係を自覚し、今後、みなさんが音楽を創り、演奏することの、より強い確信が得られるようになるかも知れません。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

全学年

【授業の形式】

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロダクション —— 音の「訪れ」「消息」「問い」としての《音なひ》

事前学習	三善晃、矢代秋雄、八村義夫の作品に触れる	時間	60 分
事後学習	授業の復習	時間	30 分

2. 「音なひ」の記譜法～三善晃の記譜法～

事前学習	プリントの楽曲における記譜法について考えておく	時間	30 分
事後学習	授業の復習	時間	30 分

3. 室内楽作品のマスタートークラス【演奏実践 I】①

三善晃「オマージュ」

事前学習	作品の準備	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	30 分

4. 室内楽作品のマスタートークラス【演奏実践 I】②

事前学習	作品の準備	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	30 分

5. 室内楽作品のマスタートークラス【演奏実践 I】③

矢代秋雄への献呈：三善晃『アン・デュイユ（哀悼）「構築」が崩れ去る境界で鳴り響く追悼の音なひ

事前学習	作品の準備	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	30 分

6. 矢代秋雄の「構築」——野性を閉じこめる檻としての形式ー

事前学習	矢代秋雄の作品に触れる	時間	45 分
事後学習	授業の復習	時間	30 分

7.八村義夫の「情念」 ―剥き出しの痛覚、ハン・ガンとの共鳴―

事前学習	八村義夫の作品に触れる	時間	
事後学習	授業の復習	時間	

8.室内楽作品のマスタークラス【演奏実践Ⅱ】

矢代、八村の室内楽作品

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
事後学習	復習	時間	30 分

9.室内楽作品のマスタークラス【演奏実践Ⅱ】

矢代、八村の室内楽作品

事前学習	マスタークラスの準備	時間	
事後学習	復習	時間	

10.室内楽作品のマスタークラス【演奏実践Ⅱ】

矢代、八村の室内楽作品

事前学習	マスタークラスの準備	時間	
事後学習	復習	時間	

11.不条理への「問い」三善晃とカミュ

事前学習	カミュについて調べる。三善晃の著作に触れる。	時間	45 分
事後学習	復習	時間	30 分

12.室内楽作品のマスタークラス【演奏実践Ⅲ】

三善晃『弦楽四重奏曲第1番～第3番』他

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

13.室内楽作品のマスタークラス【演奏実践Ⅲ】

三善晃『弦楽四重奏曲第1番～第3番』他

解体と統合、「もの」である木と人間との魂の対位法を体感し、楽譜の背後にある「構築」と「情念」を、演奏者の身体でどう調和させるかを考える。

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
------	------------	----	------

事後学習	復習	時間	45 分
------	----	----	------

14.室内楽作品のマスタークラス【演奏実践 III】

三善晃『弦楽四重奏曲第1番～第3番』他

解体と統合、「もの」である木と人間との魂の対位法を体感し、楽譜の背後にある「構築」と「情念」を、演奏者の身体でどう調和させるかを考える。

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

15.室内楽作品のマスタークラス【演奏実践 III】

三善晃『弦楽四重奏曲第1番～第3番』他

解体と統合、「もの」である木と人間との魂の対位法を体感し、楽譜の背後にある「構築」と「情念」を、演奏者の身体でどう調和させるかを考える。

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.不条理への「問い」、三善晃の詩人たち～山村暮鳥、佐川ちか、萩原朔太郎、宗左近～

事前学習	関連する詩人の作品に触れておく	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

2.声楽作品の分析 ―言葉の背後にあるもの、言葉を超越るもの―

意味を剥ぎ取った後に残る「響き」と「祈り」

事前学習	テーマについて考えておく	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

3.声楽作品の分析 ―言葉の背後にあるもの、言葉を超越るもの―

意味を剥ぎ取った後に残る「響き」と「祈り」

事前学習	テーマについてより深く考える	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

4.「レクイエム」「詩編」「響紋」―死者と生者の「声」―

事前学習	作品を聴いておく	時間	60 分
事後学習	復習	時間	30 分

5.「声」のメタファー マスタークラス【演奏実践 IV】

歌曲集「聖三稜玻璃」、「白く」他。器楽における「声」の表出：三善晃『鏡(Vn独奏)』など

言葉あるいは言葉なき「声」が「祈りの声」へと変容する瞬間の探求

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

6. マスタークラス【演奏実践 IV】

歌曲集「聖三稜玻璃」、「白く」他。器楽における「声」の表出：三善晃『鏡（Vn 独奏）』など

言葉あるいは言葉なき「声」が「祈りの声」へと変容する瞬間の探求

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

7. マスタークラス【演奏実践 IV】

歌曲集「聖三稜玻璃」、「白く」他。器楽における「声」の表出：三善晃『鏡（Vn 独奏）』など

言葉あるいは言葉なき「声」が「祈りの声」へと変容する瞬間の探求

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

8. マスタークラス【演奏実践 IV】

歌曲集「聖三稜玻璃」、「白く」他。器楽における「声」の表出：三善晃『鏡（Vn 独奏）』など

言葉あるいは言葉なき「声」が「祈りの声」へと変容する瞬間の探求

事前学習	マスタークラスの準備	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

9. 中間総括：意味以前の響きに宿る「人間」の告発

事前学習	テーマについて考えてみる	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

10. オペラ『遠い帆』I ―クリティークとしての『遠い帆』、告発と赦し―

事前学習	作品の予習	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

11. オペラ『遠い帆』I ―クリティークとしての『遠い帆』、告発と赦し―

事前学習	作品の予習	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

12. 問うべきもの ―絶望と希望について

ガザの現実を前にして

事前学習	講義テーマについて考えておく	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

13. 問うべきもの

「ふたたび《音なひ》を問う」

事前学習	講義テーマについて考えておく	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

14.音なひの結び ——40 年の教職、そして三善先生の残響

事前学習	三善晃の音楽に触れる	時間	45 分
事後学習	復習	時間	45 分

15.最終講義:【公開演奏・講演】 祈りの際(きわ)に立つ

不条理な世界で、なお音を立てることの無意味さと、その向こう側にだけ微かに光る「祈り」について。

【最終講義に寄せる「問い」】

「三善先生が音楽に託したのは、不条理な死への憐憫ではなく、人間が人間を見捨てる世界に対する、音による烈しい抗議でした。器楽であれ声楽であれ、私たちが発する音は、国境も時代も超えて、虐殺される者たちの沈黙を代弁する『声』でなければなりません。皆さんがこれから奏でる一音一音は、その沈黙を裏切らないものか。『人間という不条理を、私たちは音なひ(祈り)によって越えられるのか』この教室を去る皆さんの背中に、私はこの問いを刻みます。」

事前学習	自分自身の「音なひ」について考える	時間	45 分
事後学習	自分の考え方整理する	時間	45 分

【オフィスアワー】

月曜日、授業の前後、403

【テキスト】

1.遠方より無へ

(白水社) 三善晃

【教材】

講義で取り上げる全ての作品の楽譜、音源

作品分析特講 D(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	鷹羽 弘晃 准教授		曜日時限	火 4 時限	
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

<20～21 世紀の音楽>

全コース生を対象とした選択科目で、受講生それぞれの専攻に焦点を当て、演習を行う。

現代音楽シーンにおけるさまざまなスタイルの音楽への知見を深め、表現へと結びつけることを目標とする。

導入として、フランス近代、新ウィーン楽派、その後、戦後に出てきたさまざまな諸相を時系列を追って見ていくことで、それぞれの「現代音楽」の解釈を深めることを目指す。

同時代の音楽を知り演奏するということは今の社会を生きるということに他ならない。また、過去の作品への新たな視座を獲得することができると考えている。

受講生それぞれの専攻に関する 20～21 世紀の動向を調べ、互いに実演を含む発表することで視野を広げ、新たな音楽表現を積極的に体験することを試みる。

【到達目標】

前期は 20 世紀、後期は 21 世紀と分け、それぞれの時代で、受講生の深い取り組みの対象となる作曲家、作品に出会うことを目標とする。

また、20、21 世紀の音楽への造詣を深め、受講生が自ら現代表現の発信者となることを目指す。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

全専攻生対象

(受講希望者多数の場合は履修を制限することがある)

【授業の形式】

【対面】演習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.概要の説明:研究発表の日程調整(1)

事前学習	「現代音楽」について考える。同時代の音楽の事前の知識は必要としないが、さまざまなスタイルへの興味と好奇心を拓けておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業の進行予定を把握し、研究発表に向けての計画を立てる。	時間	45 分

2.20 世紀の音楽について(1)総論・研究発表の日程調整(2)

事前学習	授業で指定された楽曲を事前に視聴する。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

3.20 世紀の音楽について(2)新ウィーン楽派:シェーンベルク(以後受講生の楽器構成によって取り上げる順序や作曲家に変更が加わることがある)

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

4.20 世紀の音楽について(3)新ウィーン楽派:ベルク

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

5.20 世紀の音楽について(4)新ウィーン楽派:ウェーベルン

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

6.20 世紀の音楽について(5)フランスの作曲家:メシアン他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

7.20 世紀の音楽について(6)フランスの作曲家:プーレーズ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

8.20 世紀の音楽について(7)イタリアの作曲家:ノーノ、ベリオ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

9.20 世紀の音楽について(8)ハンガリーの作曲家:リゲティ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

10.20 世紀の音楽について(9)ドイツの作曲家:シュトックハウゼン他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

11.20 世紀の音楽について(10)ドイツの作曲家:ラッヘンマン、ホリガー他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

12.20 世紀の音楽について(11)アメリカの作曲家:ケージ、ライヒ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

13.リモート回:20 世紀の音楽について(12)アジアの作曲家:尹伊桑 他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

14.20 世紀の音楽について(13)日本の作曲家:武満徹、三善晃 他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

15.研究した作品の演奏会

事前学習	研究内容をまとめた資料を、プログラムノートとして執筆。	時間	45 分
事後学習	プログラムノートを提出(レポートとして評価する)。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション:研究発表の日程調整

20 世紀音楽の復習と 21 世紀音楽の概要

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

2.21 世紀の音楽について(1)1940 年代生の作曲家 I:ファーニホウ、フィニスイー他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

3.21 世紀の音楽について(2)1940 年代生の作曲家 II:グリゼイ、ミュライユ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

4.21 世紀の音楽について(3)1940 年代生の作曲家 III:シャリーノ、エトヴェシュ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

5.21 世紀の音楽について(4)1940 年代生の作曲家 IV:アペルギス、ヴィヴィエ、シュパーリンガー他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

6.21 世紀の音楽について(5)1940 年代生の作曲家 V:ジョン・アダムス、ナイマン、他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

7.21 世紀の音楽について(6)1950 年代生の作曲家 I:ジャレル、ペソン、ストロッパ、デュサパン他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

8.21 世紀の音楽について(7)1950 年代生の作曲家Ⅱ:リーム、ハース、フラー、他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

9.21 世紀の音楽について(8)1950 年代生の作曲家Ⅲ:リンドベルイ、サーリアホ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

10.21 世紀の音楽について(9)1950 年代生の作曲家Ⅳ:細川俊夫、西村朗、他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

11.21 世紀の音楽について(10)1960 年代生の作曲家Ⅰ:アンドレ、サンダース、ポッペ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

12.21 世紀の音楽について(11)1960 年代生の作曲家Ⅱ:G.ベンジャミン、ウンスクチン、ジェルバゾーニ他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

13.21 世紀の音楽について(12)1970 年代生の作曲家:マントヴァーニ、ヴィトマン、フィリディ、ベドロシアン、サンド他

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

14.21 世紀の音楽について(13)1980 年以降に生の作曲家たち、同時代の音楽について

事前学習	取り上げる作品を事前に視聴し、概要を把握すること。	時間	45 分
事後学習	演習で扱った作品の復習。	時間	45 分

15.研究した作品の演奏会

事前学習	研究内容をまとめた資料を、プログラムノートとして提出	時間	45 分
事後学習	プログラムノートを提出。レポート課題として評価する。	時間	45 分

【オフィスアワー】

火曜日 12:00-12:30 仙川教員室・ソルフェージュ研究室

【テキスト】

【教材】

【その他】

作品分析特講 E(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 森山 智宏 教授			曜日時限		金 5 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

【前期】

<F.Chopin:Ballade No.4 の研究>

表題の作品を丁寧に読み込み、「読譜」と「表現」について考察していく。

【後期】

<C.Deussy:12 Etudes の研究>

表題の作品を丁寧に読み込み、「読譜」と「表現」について考察していく。

【到達目標】

【前期】F.Chopin:Ballade No.4 の分析を通し、自分なりの「読譜」と「表現」の方法を掴めるようになる。

【後期】C.Deussy:12 Etudes の研究を通し、自分なりの「読譜」と「表現」の方法を掴めるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

修士 1 年～

【授業の形式】

講義及び演習

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	50%	50%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。出席率を重視したい。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.1.オリエンテーション

2.F.Chopin についての概説

事前学習	F.Chopin のピアノ作品の代表作を確認しておく。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

2.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(1 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

3.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(2 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

4.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(3 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

5.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(4 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

6.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(5 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

7.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(6 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

8.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(7 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

9.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(8回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

10.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(9回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

11.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(10回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

12.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(11回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

13.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(12回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

14.1.F.Chopin:Ballade No.4 の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(13回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

15.1.前期のまとめ

2.レポートの完成

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げなかった他の F.Chopin のピアノ作品を鑑賞する。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.1.オリエンテーション

2.C.Debussy についての概説

事前学習	C.Debussy のピアノ作品の代表作を確認しておく。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

2.1.C.Debussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(1回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

3.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(2回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

4.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(3回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

5.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(4回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

6.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(5回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

7.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(6回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

8.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(7回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

9.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(8回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

10.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1に基づく「読譜」と「表現」の考察(9回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

11.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(10 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

12.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(11 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

13.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(12 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

14.1.C.Cebussy:12 Etudes の分析

2.1 に基づく「読譜」と「表現」の考察(13 回目)

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	出された課題を実習しておくこと。	時間	45 分

15.1.後期のまとめ

2.レポートの完成

事前学習	取り上げる作品を予め鑑賞しておくこと。	時間	45 分
事後学習	授業で取り上げなかった他の A.Scriabin のピアノ作品を鑑賞する。	時間	45 分

【オフィスアワー】

金曜日 5 限終了後 ソルフェージュ研究室 (S202)

作品分析特講 F(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	池田 哲美 講師	曜日時限	月 4 時限		
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

＜19 世紀から 20 世紀初頭の音楽事情と作品＞19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、多岐に渡る優れた音楽作品が数多く生まれる。ドビュッシー・ラヴェルの印象主義の作品、ブラームス、ブルックナーとマーラーの交響曲群、12 音技法に至る新ウィーン学派(シェーンベルク・ウェーベルン・ベルク)の無調音楽。そしてストラヴィンスキーの『春の祭典』をはじめとするバレエ音楽など、従来の音楽様式に捉われない新たな試み、変革と創造が行われる。これらの作品を分析を通して、この 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての音楽作品を、そしてその背景にある文化的特徴をも考えてみたい。また関連作品としてブラームス、ドヴォルジャークなども取り上げる。

【到達目標】

19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての音楽作品を、そしてその背景にある文化的特徴を知ることができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

全学生対象ではあるが、作品分析において和声的知識が必要となる。

【授業の形式】

講義形式

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
60%	20%	20%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.

ドビュッシーの作品 1 ピアノ作品 映像 I・II

事前学習	教会旋法の音構成と名称	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

2.

ドビュッシーの作品 2 ピアノ作品 映像 I・II

事前学習		時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

3.

ドビュッシーの作品 3 ピアノ作品 映像 I・II

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

4.

ドビュッシーのオーケストラ作品 1 海 牧神の午後への前奏曲

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

5.

ドビュッシーのオーケストラ作品 2 海 牧神の午後への前奏曲

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

6.ブラームスの交響曲 その 1

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

7.ブラームスの交響曲 その 2

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

8.ブラームスの器楽曲 その 1

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

9.ブラームスの器楽曲 その 2

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

10.ブラームスの器楽曲 その 3

事前学習	授業内で指示した内容を予習しておくこと。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

11.ブルックナーの交響曲その 1

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

12.ブルックナーの交響曲その 2

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

13.19 世紀から 20 世紀初頭にかけての作品群 1

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

14.19 世紀から 20 世紀初頭にかけての作品群 2

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

15.19 世紀から 20 世紀初頭にかけての作品群 3

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

【授業展開と内容-後期】

1.

ドビュッシーの作品 1 前奏曲集 第 1・2 巻 喜びの島

事前学習	教会旋法の音構成と名称	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

2.ドビュッシーの作品 2 前奏曲集 第 1・2 巻 喜びの島

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

3.

ドビュッシーの作品 3 前奏曲集 第 1・2 巻 喜びの島

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

4.

ドビュッシーの作品 4 前奏曲集 第 1・2 巻 喜びの島

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

5.

マーラーの交響曲 その1

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

6.

マーラーの交響曲 その2

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

7.

マーラーの交響曲 その3

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

8.

マーラーの交響曲 その4

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

9.

マーラーの交響曲 その5

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

10.ブラームスの作品 1

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

11.ブラームスの作品 2

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくること。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

	と。		
--	----	--	--

12. プラームスの作品 3

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

13. 19 世紀から 20 世紀初頭にかけての作品群 1

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

14. 19 世紀から 20 世紀初頭にかけての作品群 2

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

15. 19 世紀から 20 世紀初頭にかけての作品群 3

事前学習	授業内で指示した内容を予習してくる。	時間	40 分
事後学習	授業で習得した技術や知識がどのように自分の実技に活かせるか、考えること。	時間	50 分

【オフィスアワー】

仙川教室にて授業前後に時間を確保します。

【テキスト】

1. マーラー 音楽観相学

アドルノ

【教材】

授業毎に教材(楽譜・参考資料)をプリントで配布する。

原書講読(英)(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員	沼野 雄司 教授	曜日時限	火 2 時限		
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

英語による音楽文献を講読する。現時点で候補になっているのは Mark Katz による Music and Technology (Oxford) だが、参加者の意向も勘案しつつ最終的に決定したい。授業の最終的な目的はテキスト自体の読解だが、その過程において英語の読解力を鍛える方策を多方面から実施する(文法面からもきっちりと英文を捉える訓練をするつもりである)。ミュージコロジーの学生必修の授業だが、英語の読解を学びたい、英語の書籍を読めるようになりたい、という学生は専攻を問わず歓迎する。

【到達目標】

英語による音楽論をある程度以上のスピードで読み、その内容について議論できるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

高校卒業程度の英語力が必要だが、自信がなくともやる気があれば歓迎。辞書(電子辞書でもよい)必携。

【授業の形式】

演習。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
		100%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき S, A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.文献1

事前学習	テキスト予習	時間	30 分
事後学習	テキスト読解	時間	60 分

2.文献2

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト読解	時間	30 分

3.文献3

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

4.文献4

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

5.文献5

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

6.文献6

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

7.文献7

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

8.文献8

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

9.文献9

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

10.文献 10

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

11.文献 11

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

12.文献 12

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

13.文献 13

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

14.文献 14

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

15.文献 15

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.文献 16

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

2.文献 17

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

3.文献 18

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

4.文献 19

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

5.文献 20

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

6.文献 21

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

7.文献 22

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

8.文献 23

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

9.文献 24

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

10.文献 25

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

11.文献 26

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

12.文献 27

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

13.文献 28

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

14.文献 29

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

15.文献 30

事前学習	テキスト予習	時間	60 分
事後学習	テキスト再読解	時間	30 分

【オフィスアワー】

調布 106 室水～日

原書講読(独)(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 白井 史人 講師			曜日時限		水 2 時限
実施キャンパス 仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～	

【授業の概要】

ドイツ語で書かれた音楽書を輪読する。文法を復習しつつ、一定の長さともまとまりのある文章を読むために必須となる読解能力を養う。講読する文献は、授業担当者が映像音響分析に関するいくつかの文献の候補を提示し、初回に決定する。文献の候補としては、ベートーヴェンと映画との関連を扱う研究書や事典の事項を予定している。後期については、参加者の専攻などを考慮しつつ分析的な文章を読む予定である。ドイツ語の読解に加え、内容に関するディスカッションや参考となる映像・音響資料の検討もまじえつつ輪読を進める。

【到達目標】

みずからの関心に沿って学術的なドイツ語の文章を読解できるようになることを将来的な目標として設定し、文法構造を意識して文章を正確に読む基礎的な力を養う。また音楽書を読むうえで必要な語彙を身につける。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

ドイツ語の初級文法を一通り学習していることが条件である。授業内では必要な文法事項を説明しながら輪読を進めるが、文法を基礎から教えることはしない(2年程度のドイツ語学習歴を想定)。簡単な文章を読んだ経験があることがのぞましいが、不安な場合は初回に相談すること。なお学部・大学院共通授業となる。

【授業の形式】

演習（文献の講読およびディスカッション）。毎回指定された部分を訳してくること。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	40%	60%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。各学期末に授業内で小テストを行い、それを 40% で評価する。毎回の訳やディスカッションへの参加度を受講姿勢 60% とする。

【課題に対するフィードバックの方法】

訳および授業内課題に関してはその都度授業内でフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. 文献紹介、講読文献の決定、分担割り振り

事前学習	ドイツ語の基礎的な文法やこれまで読んだことのある文章を復習しておく。	時間	45 分
事後学習	次回の講読部分に目を通し、分からない単語や文構造にチェックを入れておく。	時間	45 分

2. 講読とディスカッション①

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

3. 講読とディスカッション②

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

4. 講読とディスカッション③

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

5. 講読とディスカッション④

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

6. 講読とディスカッション⑤

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

7.講読とディスカッション⑥

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

8.講読とディスカッション⑦

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

9.講読とディスカッション⑧

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

10.講読とディスカッション⑨

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

11.講読とディスカッション⑩

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

12.講読とディスカッション⑪

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

13.講読とディスカッション⑫

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

14.講読とディスカッション⑬

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

15.小テストとフィードバック

事前学習	前期に読んだ部分を見返し、要約を作っておく。	時間	60 分
事後学習	フィードバックを受けて、改めて問題を解いて理解を確認する。	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.文献紹介、講読箇所の設定、分担割り振り

事前学習	前期の内容を振り返り、複雑な文法事項を復習しておく	時間	45 分
事後学習	講読する文献やその内容に関して、自身の関心に合わせて調べておく。	時間	45 分

2.講読とディスカッション①

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

3.講読とディスカッション②

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

4.講読とディスカッション③

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

5.講読とディスカッション④

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

6.講読とディスカッション⑤

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

7.講読とディスカッション⑥

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

8.講読とディスカッション⑦

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

9.講読とディスカッション⑧

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

10.講読とディスカッション⑨

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

11.講読とディスカッション⑩

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

12.講読とディスカッション⑪

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

13.講読とディスカッション⑫

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

14.講読とディスカッション⑬

事前学習	ページ全体を読み、分からない単語を調べたり、文法構造を把握できない部分などをピックアップしておく。	時間	45 分
事後学習	文献に出てきた作品や概念について、音楽事典等で調べて理解を深める。	時間	45 分

15.小テストとフィードバック

事前学習	後期に読んだ部分を見返し、要約を作っておく。	時間	60 分
事後学習	フィードバックを受けて、改めて問題を解いて理解を確認する。	時間	30 分

【オフィスアワー】

質問がある場合は、水曜日の授業時間の前後に時間を確保する。

【テキスト】

1. Lexikon der Filmmusik Manuel Gervink, Matthias Bückle 編 2012 年 978-3-89007-558-7

備考: 自身で購入する必要はない。

2. Beethoven im Film: Titan auf Tonspur und Leinwand Albrecht Riethmüller 編 2022 年 978-3-96707-608-0

備考: 自身で購入する必要はない。

【教材】

上記のテキストなどから抜粋して配布する。このほか、以下の書籍を参考とするが、事前に購入する必要はない。

沼口隆、安川智子、齋藤桂、白井史人(編)『ベートーヴェンと大衆文化 受容のプリズム』、春秋社、2024 年。(講読する文献の内容に合わせて、抜粋して参照する場合がある。)

中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧『必携ドイツ文法総まとめ』、白水社、2003 年。（文法事項をおさらいするのに便利な本。特に必須ではない。）

原書講読(仏)(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 永井 玉藻 講師			曜日時限		木 2 時限
実施キャンパス	仙川	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

フランス語で執筆された音楽関連の書籍を取り上げ、抜粋で講読する。課題文について、文法の解説を行うと同時に、文章が書かれた背景や関連する作品に関して説明する。また、各回で練習問題を解くことで、フランス語の読解力と運用能力を高める。

【到達目標】

・フランス語の基礎文法を再確認し、欧州評議会レベル B1 以上相当の文章を読むことができるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

フランス語の読解については、最低でも 1 年間は一通りの文法事項を学び、さまざまな過去形の用法の違いがあることや、直接法や条件法、接続法の違いなどについて大まかな知識を得ていることを履修の前提とする。フランス語の読解能力については、初回の授業でテストを実施するため、受講希望者は必ず初回の授業に出席すること。また、指定された課題や事前学習、授業内の課題実施に積極的に取り組み、授業を通して得た知識を自らの研究やレポート執筆に活用する意欲を持っていること。

【授業の形式】

講義を中心とするが、言語は実際に使わないと身につかないため、実践も重視して行う。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回授業時にフィードバックする。

学年末試験／学年末レポートについては Classroom に講評を掲載する。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション、フランス語読解能力の確認テスト

事前学習	フランス語基礎文法の確認をしておく。	時間	45 分
事後学習	指定された課題に取り組み、次週授業に備える。	時間	45 分

2.課題文を読む①

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

3.課題文を読む②

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

4.課題文を読む 3

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

5.課題文を読む 4

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

6.課題文を読む 5

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

7.課題文を読む 6

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

8.課題文を読む 7

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

9.課題文を読む 8

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

10.課題文を読む 9

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

11.課題文を読む 10

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

12.課題文を読む 11

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

13.課題文を読む 12

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

14.課題文を読む 13

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

15.課題文を読む 14

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

事前学習	フランス語基礎文法の確認をしておく。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

2.課題文を読む(1)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

3.課題文を読む(2)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

4.課題文を読む(3)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

5.課題文を読む(4)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

6.課題文を読む(5)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

7.課題文を読む(6)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

8.課題文を読む(7)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

9.課題文を読む(8)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

10.課題文を読む(9)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

11.課題文を読む(10)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

12.課題文を読む(11)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

13.課題文を読む(12)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

14.課題文を読む(13)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

15.課題文を読む(14)

事前学習	前週に指定された課題に取り組む。	時間	45 分
事後学習	文法事項の確認、データベースでの資料検索を行う。	時間	45 分

【オフィスアワー】

木曜日 仙川教室にて、授業前後に時間を確保する。

【テキスト】

1.Les derniers musiciens du roi 1761-1792 Youri Carbonnier 2025 年 ¥4,625 9782753596795

【教材】

上記テキストなどから抜粋した箇所を配布する。

【その他】

履修者のフランス語レベルチェックのため、履修希望者は初回授業に必ず出席すること。また、シラバス内容は、履修者の進度や関心、人数に応じて変更する可能性がある。

音楽文献研究(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 安田 和信 准教授			曜日時限		水 5 時限
実施キャンパス	調布	単位	各 2 単位	対象年次	修士 1 年～

【授業の概要】

音楽文献や楽譜を探索するためのノウハウを学ぶ。音楽学の研究者のみならず、演奏家や作曲家にとっても氾濫する情報を整理することは極めて重要な作業である。この授業では、本学図書館所蔵の資料を実際に手に取りながら、様々な角度から情報収集と整理の方法を見ていきたい。紙媒体のみならず、インターネットによる文献探索等にも時間を割く予定。

【到達目標】

音楽文献の探索法を理解し、情報収集能力を高める。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

修士 1 年～。

【授業の形式】

演習。

例年受講者の多い授業であるため、教室のキャパシティを超えた場合は履修制限をする可能性がある。

インターネットを活用した資料検索も積極的に取り上げるため、履修者はスマホやパソコンを持参すること。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

原則として前回の課題について次回授業時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1. イントロダクション(文献とは何か) & 作品目録その1

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

2. 作品目録 1

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

3. 作品目録 2

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

4. 作曲家研究(Year Book/書簡集/ドキュメント/研究書)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

5. 伝記記述(Bach/Mozart/Beethoven)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

6. 伝記的ビブリオグラフィ(Bio-bibliography/A Guide to Research)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

7. 音楽学文献(Allen/Laaber/Duckles/Marco)と音楽資料事典

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

8. Music Index/RILM/RIDM/RIPM

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

9.楽譜出版・全集の歴史

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

10.楽譜目録の歴史(Hofmeister=Whistling/Pazdirek)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

11.定期刊行物(雑誌)と On-line 論文・雑誌検索

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

12.叢書楽譜

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

13.RISM の詳細

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

14.音楽事典

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

15.前期のまとめ

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	前期で学習した資料の活用方法についてしっかり復習をすること	時間	70 分

【授業展開と内容-後期】

1.伝記的ビブリオグラフィ1(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	70 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	20 分

2.伝記的ビブリオグラフィ2(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	70 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	20 分

3.RILM(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	70 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	20 分

4.過去の楽譜出版 1(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

5.過去の楽譜出版 2(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

6.過去の楽譜出版 3(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

7.過去の楽譜出版 4(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

8.叢書楽譜(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

9.RISM 実習 1

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

10.RISM 実習 2

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

11.音楽資料事典(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

12.各国国立図書館等の所蔵の検索

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

13.過去の音楽事典 1(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

14.現代の音楽事典 2(実習)

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

15.後期のまとめ

事前学習	classroom 上の資料を事前に読んでおくこと	時間	20 分
事後学習	授業で触れた資料(およびそれに類似した資料)を実際に手に取り、またはオンラインで確認した上で活用方法を復習すること	時間	70 分

【オフィスアワー】

水曜 5 限後 調布にて時間を確保します

【教材】

原則として毎回、Classroom を通じて資料を配布する。参考書については授業内で指示する。